



第 74 回日本リハビリテーション医学会関東地方会

専門医・認定臨床医生涯教育研修会



○日 時：2021 年 2 月 7 日（日）10：00 ~ 18：00

○会 場：Web 開催

○会 長：菊地 尚久

(千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長)



*センターHP 内
地方会専用ページ

<https://www.chiba-reha.jp/for-medical/jarm-kanto74/>

第 74 回日本リハビリテーション医学会関東地方会

会 長：菊地 尚久 (千葉県千葉リハビリテーションセンター センター長)

事務局：千葉県千葉リハビリテーションセンター

〒262-0005 千葉県千葉市緑区誉田町 1-45-2

TEL : 043-291-1831/FAX : 043-291-1857 E-mail : jarm.kanto74@chiba-reha.jp

○参加費等

- ・地方会参加費

医師 2,000 円、メディカルスタッフ 1,000 円、初期臨床研修医・学生 無料

- ・日本リハビリテーション医学会 生涯教育研修会

1 講演 1,000 円

○単位認定

- ・地方会参加

日本専門医機構専門医は 1 単位（筆頭演者はさらに年度末自己申請により 1 演題 1 単位）

認定臨床医は 10 単位

- ・生涯教育研修会

日本専門医機構専門医は 1 講演 1 単位

認定臨床医は 1 講演 10 単位

注) 日本整形外科学会教育研修会はございません。

○利益相反について

日本リハビリテーション医学会が定める「利益相反の管理に関する申し合わせ」に従ってください。利益相反がない場合もスライドで表示してください。

参考枠 参加者の皆様へ

1. アカウント作成及び参加登録について

- ・千葉県千葉リハビリテーションセンターHP内「地方会専用ページ」にアクセス。

(<https://www.chiba-reha.jp/for-medical/jarm-kanto74/>)

- ・上記 HP から専用サイトにアクセス後、下記手順で参加登録を行ってください。

アカウント作成

(1) 「アカウント作成」をクリックしてください。

(2) 必須項目を入力し「次へ」をクリックしてください。

(3) 登録したメールアドレスへ承認用 URL が送信されますので、メール内の URL をクリックしてログインページへアクセスしてください。

参加登録

(1) ログインページにて、アカウント作成をしたメールアドレスとパスワードを入力してください。

(2) 上部メニューより「参加登録」をクリックし、必要項目を入力してください。

(3) 参加登録決済が完了すると確認メールが送信されますのでご確認ください。

- ・アカウント作成の際、日本リハビリテーション医学会会員の方は、会員番号をご用意ください。
- ・参加費の支払い方法は、クレジットカード決済または銀行振込のいずれかになります。
- ・生涯教育研修会の講演費用は、地方会参加費と合わせてのお支払いとなります。
- ・銀行振込の場合、振込確認後に参加登録が完了となりますので、2021年1月29日（金）までにお振込手続きをお願いいたします。
- ・領収書は、2021年2月8日（月）から専用サイトのマイページからダウンロード可能となります。

2. 地方会当日の参加について

- ・一般講演は、ポスター発表となります。開催期間中は自由に閲覧することができます。
- ・演者への質問は各演題が掲載された Web ページからコメントを記載することで質問することができます。質問の書き込みは、16:00までとなります。
- ・教育講演は、動画講演となります。ライブ配信となりますので、講演開始時間にご注意ください。

3. 学会参加証明等について

- ・地方会参加証明書及び生涯教育研修会受講証明書の発行方法については、千葉県千葉リハビリテーションセンターHP内「地方会専用ページ」をご参照ください。
(<https://www.chiba-reha.jp/for-medical/jarm-kanto74/>)

一般演題ご発表の先生方へ

1. 発表方法

- ・講演方法はポスター講演となります。

2. 質疑応答への対応方法

- ・各演題のページに設けられているコメント機能を使用します。参加者から書き込まれた質問に対し、随時、回答を行ってください。
- ・各質問への回答締め切りは17:00までとなります。
- ・質問への回答範囲つきましては、演者の方のご判断にお任せいたします。

3. 抄録原稿の作成について

日本リハビリテーション医学会誌「Jpn J Rehabil Med.」掲載用の抄録原稿「演題名、演者名、演者所属、抄録（本文400字以内）」を作成し、デジタルデータとして2021年2月7日（日）までに事務局今野あて（jarm.kanto74@chiba-reha.jp）にご提出ください。

リンク先

Web会場へのリンク先は下記HPをご参照ください。

千葉県千葉リハビリテーションセンターHP内「地方会専用ページ」

<https://www.chiba-reha.jp/for-medical/jarm-kanto74/>



第74回日本リハビリテーション医学会

関東地方会学術集会 プログラム

【一般演題】ポスター講演 10:00 ~ 18:00

1. 鏡視下腱板縫合術後のエコーによる拳上動作評価 テーラーメイドな術後リハを目指して

北里大学医学部整形外科学¹⁾

北里大学病院リハビリテーション部²⁾

北里大学医療衛生学部³⁾

○見目智紀¹⁾、中澤俊之¹⁾、福田倫也²⁾、高平尚伸³⁾、高相晶士¹⁾

2. 心疾患を有する脳卒中患者のリハビリテーション治療の経験

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科

○外山里沙、伊部洋子、中雄裕美子、伴野潤一、黒崎みのり、田澤昌之、和田直樹

3. 重症 Guillain-Barré 症候群における胃瘻造設時期に関する検討

東京慈恵会医科大学葛飾医療センターリハビリテーション科¹⁾

東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科²⁾

総合東京病院リハビリテーション科³⁾

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座⁴⁾

○内山紫央李¹⁾、柏原一水²⁾、坪井麻里佳³⁾、宮野佐年³⁾、小林一成¹⁾、安保雅博⁴⁾

4. 両大腿の広汎な骨化性筋炎による膝可動域制限を小侵襲な鏡視併用授動術と後療法により改善させた1例

川口工業総合病院整形外科、スポーツ関節鏡センター¹⁾

東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション科²⁾

○荻内隆司¹⁾、平尾昌之^{1) 2)}、酒井朋子²⁾

5. Covid-19 患者にリモートで行った嚥下評価について

東京医科歯科大学医学部附属病院

○中原瑠衣

6. 大腿骨転子部骨折術後に仮性動脈瘤を形成し動脈塞栓術施行後歩行を獲得した1例

日高病院リハビリテーションセンター¹⁾

群馬大学医学部附属病院リハビリテーション科²⁾

○中島慶子¹⁾、坐間 朗¹⁾、和田直樹²⁾

7. COVID-19 のリハビリテーション治療中に D-dimer 上昇により、大動脈内血栓が診断された一例

東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション科¹⁾

東京都立大塚病院リハビリテーション科²⁾

○関 淳¹⁾、酒井朋子¹⁾、星野ちさと¹⁾、山口玲子¹⁾、中原瑠衣¹⁾、平尾昌之²⁾

8. 第 19 回冬季デフリンピック競技大会における帯同医参加報告及び考察

湯村温泉病院リハビリテーション科

○楠目信三

9. 下腿コンパートメント症候群後の尖足変形に対し、補高調整可能な短下肢装具を使用し歩行を再獲得できた一例

東京医科歯科大学医学部附属病院リハビリテーション科¹⁾

東京都立大塚病院リハビリテーション科²⁾

○山口玲子^{1) 2)}、酒井朋子¹⁾、星野ちさと¹⁾、関 淳¹⁾、中原瑠衣¹⁾、平尾昌之²⁾

10. リハビリテーション治療によって骨格筋量の増加を認めた重症 COVID-19 の一例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座

○濱 碧、竹川 徹、柏原一水、山田尚樹、橋本弦太郎、大渕 恵、渡邊 修、安保雅博

1 1. 保険診療におけるリハビリテーション治療の実状

亀田メディカルセンターリハビリテーション科

○小山照幸

1 2. 思春期の自殺企図者に対するリハビリテーション治療 4症例のまとめ

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座¹⁾

東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科²⁾

○本田有正^{1) 2)}、武原 格^{1) 2)}、安保雅博¹⁾

1 3. 持続陽圧呼吸療法（CPAP）導入により覚醒・および夜間頻尿が改善した脳卒中患者の一例

東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座¹⁾

東京都リハビリテーション病院リハビリテーション科²⁾

○本田有正^{1) 2)}、武原 格^{1) 2)}、安保雅博¹⁾

1 4. 難治性皮膚潰瘍に対し、皮弁形成術を行い治癒し得た二例

袖ヶ浦さつき台病院整形外科・リハビリテーション科

○鄭 在夏、新井 真、笠置泰史、村山浩通、村上峰子、猪狩友行

1 5. Bioelectrical impedance analysisによる身体計測値の妥当性の検討

防衛医科大学校病院リハビリテーション部

○中村洋介、小林龍生、尼子雅敏、長尾陽子、倉橋利佳

1 6. 婦人科癌術後のリンパ浮腫指導の実際

東京慈恵会医科大学リハビリテーション科

○上原朋子

1 7. ナイル川クルーズ後に COVID-19 肺炎を発症した 1 症例へリハビテーションの経過～

国立病院機構東京病院リハビリテーション科

○梅原花芽、西本遼輝、大野洋平、佐藤宏之、伊藤郁乃、新藤直子

1 8. 回復期リハビリテーション病棟で歩行自立した重症ギラン・バレー症候群の若年女性例

昭和大学医学部リハビリテーション医学講座

○田中 碧、和田義敬、川手信行

1 9. 気管切開管理下の慢性期頸髄損傷患者に対し電気式人工喉頭を用いたコミュニケーションを試みた一例

東海大学医学部付属八王子病院¹⁾

東海大学医学部付属八王子病院リハビリテーション科²⁾

東海大学専門診療学系リハビリテーション科学³⁾

○藏田麻希子¹⁾、古賀信太朗²⁾、菅家英典²⁾、古川俊明²⁾、正門由久³⁾

2 0. 両眼立体視が回復期のリハビリテーション治療に与える影響についての検討

済生会東神奈川リハビリテーション病院リハビリテーション科¹⁾

国立精神・神経医療研究センター病院身体リハビリテーション部²⁾

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室³⁾

済生会東神奈川リハビリテーション病院リハビリテーションセラピスト科⁴⁾

○武藤百合子¹⁾、水野勝広^{2) 3)}、平村 徹⁴⁾、古田裕亮⁴⁾、宮澤森太郎¹⁾、三浦治己¹⁾

西村温子¹⁾、新城吾朗¹⁾、宇内 景¹⁾、江端広樹¹⁾、辻 哲也³⁾

2 1. リハビリ目的に入院した頸髄損傷患者に脾腫瘍が見つかり方針決定に難渋した一例

千葉県千葉リハビリテーションセンター

○小川尋海、菊地尚久

2 2. 回復期リハビリテーション病棟において、COVID-19 の再燃により転院加療を要した一例
船橋市立リハビリテーション病院リハビリテーション科
○関口和哉、金子智美、石原 健、梅津博道、水間正澄

2 3. 当院回復期リハビリテーション病棟から急性期病院へ転院した下肢切断患者 5 例の検討
昭和大学医学部リハビリテーション医学講座
○高岡哲也、和田義敬、川手信行

2 4. 当院の転倒事例 1634 件の分析と対策
東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科¹⁾
東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座²⁾
○大渕 恵^{1) 2)}、渡邊 修^{1) 2)}、竹川 徹^{1) 2)}、山田尚基^{1) 2)}、橋本弦太郎^{1) 2)}
濱 碧^{1) 2)}、安保雅博²⁾

2 5. コロナ禍でリハビリテーションを制限された回復期リハビリテーション病棟での FIM と実績指數
総合東京病院リハビリテーション科
○高橋剛治、坪井麻里佳、宮野佐年

2 6. 両手指に熱傷受傷した全盲患者への外来作業療法
横浜市立市民病院リハビリテーション科
○内藤咲月、小林宏高、中嶋麻巳子

2 7. 片麻痺者の手洗い実態調査
横浜市総合リハビリテーションセンターリハビリテーション科
○倉兼明香、高岡 徹、吉川真理、福みづほ

2 8. 当院における COVID-19 患者に対するリハビリテーションの取り組み

NTT 東日本関東病院リハビリテーション科

○福田 明、五十嵐祐嗣

2 9. 右骨盤部軟骨肉腫に対する右骨盤広範切除術後の急性期リハビリテーションの1例

慶應義塾大学病院リハビリテーション医学教室

○南雲美里、和田彩子、石川愛子、石原果奈美、渡邊瑠美、須田万豊、森 直樹
川上途行、辻 哲也

3 0. 右下腿切断後 20 年を過ぎて発症した閉塞性動脈硬化症の診断に難渋した一例

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学

○根本明宜、野々垣学、金森裕一、山上大亮、田中 都、稗田保奈美、中村 健

3 1. 外側型弾発股を呈したパーキンソン病の1例

帝京大学溝口病院整形外科¹⁾

西東京中央総合病院整形外科²⁾

帝京大学溝口病院リハビリテーション科³⁾

○金崎志帆¹⁾、中村 茂^{1) 2)}、長谷部清貴³⁾、小畠知博³⁾、原 元彦³⁾

3 2. 遺伝性痙性対麻痺に対するバクロフェン持続髄注治療の長期的意義

自治医科大学リハビリテーションセンター¹⁾

自治医科大学脳神経外科²⁾

○中嶋 剛^{1) 2)}、森田光哉¹⁾、直井為任¹⁾

3 3. 高次脳機能障害者への地域でのリハビリテーション

川崎市社会福祉事業団れいんぼう川崎

○齋藤 薫

3 4. 光線力学療法と当院におけるリハビリテーションについて

東京女子医科大学リハビリテーション科

○岩間貴明、若林秀隆、和田 太、水野聰子

3 5. 当院におけるインシデントレベル3以上の症例についての薬理学的検討

ねりま健育会病院リハビリテーション科

○末田智紀、黒川聰太郎、千田洸平、竹川英徳、鈴木孝征、島田 健、酒向正春

3 6. 著明な喉頭浮腫により嚥下障害をきたしたネフローゼ症候群の一例

国立病院機構東京医療センターリハビリテーション科¹⁾

国立病院機構東京医療センター緩和ケア内科²⁾

慶應義塾大学医学部リハビリテーション教室³⁾

○板倉大輔¹⁾、宮田知恵子²⁾、富澤佑起³⁾、鈴木涼平³⁾、辻 哲也³⁾

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 1】

ライブ配信 13:30 ~ 14:30

「腰痛のリハビリテーションを理解するためにー基礎から臨床までのエビデンスからー」

千葉大学大学院医学研究院整形外科学 教授

大鳥精司 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 2】

ライブ配信 14:40 ~ 15:40

「脳卒中急性期からのリハビリテーション治療ー最近の知見ー」

横浜市立大学医学部リハビリテーション科学教室 教授

中村 健 先生

【専門医・認定臨床医生涯教育研修会：講演 3】

ライブ配信 15:50 ~ 16:50

「回復期脳卒中患者に対する下肢装具処方の基本と実際」

東京湾岸リハビリテーション病院 院長

近藤国嗣 先生